

# 写真展 広島・長崎・福島・沖縄を忘れない

あの昭和20年8月に名大上空で原爆がさく裂したかもしれない

## 「原爆と人間」

「原爆模擬弾」・「戦争と大学」展の写真の一部展示

戦後 TV、ラジオで活躍した多くの著名人が去っていきます。将来を危惧するメッセージを残して。今や過去に大戦があったことすら知らない世代が増えてきました。71年前に数百万の邦人、一千万のアジアの人々の犠牲の下にこの平和が築かれたこと。我々の今の平和な暮らしは、憲法にも書かれている戦争放棄、国際協調、平和主義は戦後の日本が世界に約束したことであり、この国に暮らすものにとっては忘れてはならないことです。今から71年前の戦争では、5月に沖縄は過酷な戦火にまみれ、同時に日本全国が空襲を受け焼野原となりました。さらに2発の原爆が投下され30万の無辜の命が奪われました。名古屋市も空襲で大半が焼失し、名古屋大学鶴舞地区も全焼しました。広島への原爆投下に先立って全国49か所に模擬原爆「パンプキン」が投下され、名古屋でも東山キャンパスからさほど離れていない昭和区山手通り（八事日赤北）に着弾したことなど、今一度名古屋大学にも戦争があったことを思い起こしていただきたいと思います。

月日：8月4日（木）、8月5日（金） 時間：10:00~17:30

場所：名古屋大学工学部 I B 情報館 1 F ピロティ

資料提供：原水爆禁止日本協議会愛知県原水協

名古屋大学大学文書資料室、名古屋大学大学文書資料室医学部分館

戦争と平和の資料館「ピースあいち」

愛知名古屋 戦争に関する資料館

原水爆禁止署名活動にご協力ください

主催 原発事故被災者支援市民の会

後援 名古屋大学職員組合

写真展会場

